

新潟 11 発走 15:45

(サマースプリントシリーズ第3戦) 第16回アイビスサマーダッシュ(特)別定 (3歳以上、オープン)

Table with columns for race numbers (桃, 緑, 黄, 青, 赤, 黒, 白) and horse names. Includes details like jockey names, weights, and race conditions.

今年はずレゲートに満たなかったが、枠順はポイント。(左)の成績は過去10年。過去の3連対は15番人気馬。今年の2頭は実績的にも厳しいが、穴なら初の千直やマンブチガトの差し。(01037) 昨年は3枠から制したベルカントが今年4枠。とはいえず実績断然といえるマンブチ構成。

新潟 1000

良 54秒台 重 55秒台 (今回推定タイム)

Table with columns for race numbers (桃, 緑, 黄, 青, 赤, 黒, 白) and horse names. Includes details like jockey names, weights, and race conditions.

連朝も狙える。ルは前走の草駄天Sが初の千直。ハンデの恩恵もあったが4枠から3着なら適性。(14134) 草駄天Sを勝ったプリンセスマンは千直(3200)。北馬の活躍も目立つ。プレスでこの舞台なら互角。レイズマヘイローは昨年の草駄天Sでネロを破って快勝の記録。(74535)

成績の見方

- ① 5中⑫2.24 有馬G優1 219 49800.05 48000.05 14.471.1 ② 2中⑫39.1 ③ 後追込33.8 ④ 後追込33.8 ⑤ 後追込33.8 ⑥ 後追込33.8 ⑦ 後追込33.8 ⑧ 後追込33.8

本紙の見解

夏女王ベルカント 昨年はアイビスSD北九州記念を連破し、サマースプリント・チャンピオンに輝いたベルカント。今年は昨年取り消したCBC賞を3着と好走してのステップ。臨戦過程は数段上で、レース連朝の公算は高い。直線競馬の適性は証明済みだし、今回は相手関係も有利。ここ目標に鋭意調整のネロ、プリンセスマン両馬が相手。 [首位有望]

馬単 4→13 4→12 4→11 4→10 4→9

3連複 4613 41213 41113 4913 4612 4466 4611 469

展開 1着 369 2着 11213 3着 369 平均ペース (30点)

相本 相本 相本 相本 相本 相本 相本 相本 相本 相本

初直線1000mだった昨年、お手本のような強弱をつけたバランスラップで54秒だったベルカントに早熱型は少ない。昨年以上が可能。 [復] 4→6 4→13 4→12 4→11 4→9





大川浩史

短距離のスクリーンが得意

新潟の直線キーマートルはラップが結果に及ぼす影響が大きいコースで、単純なことだがハイペースなら差が決まる。ハイペースの基準は「前半400Mが22秒0以内」だが、2009〜2012年に22回あった「ハイペース」が2013年以降は9回。2013年夏からのエアレーション整備で時計が

日本の競馬史上もっとも長く

存続している父系は、▽テスコボーイ(68年輸入) サクラユタカオー82 ショウワンカンオー98 グランプリボス08 エアジハード95

現役で今春も産駒を送っているのは太字の3頭(他に種牡馬登録のある馬が少数いる) 輸入されたテスコボーイ(父プリンスリギフト)は、最初の69年生まれの産駒から早月賞馬ランドプリンスを送った。続けてテスコガビー、キタノカチドキ、トウショウボーイ...など。孫世代になるウツラバクシンオー(15年急死)は、今春、高松宮記念のビッグアーサーを輩出している。そのテスコボーイ系の存続は半世紀に達しようとしている。それもGI馬を出す父系としてである。これまで大成功した著名な父系も、その存続は20〜25年(3代くらい)が限度で、直父系が

Table with 2 columns: Name, Win Rate. Includes names like 一休、キーン、ルビー、etc.

Table with 2 columns: Name, Win Rate. Includes names like ナー、レー、連対、調教師、etc.

掛かるようになった影響もあるようだが、それだけでもない。アイビスサマーダッシュも2012年まで12回中11回は「ハイペース」だったが、最近3年で2回も前半22秒1以上(22秒3と22秒1)がある。草駄天S(前半21秒8)で逃げたミラクルアイドル(前半21秒台を4回記録)がいないので今年も速くはならないと読む。アットウィルは初コースになるが、京都芝千二で2勝しているように「平坦コースのスクリーン」を得意としている馬。現代の新潟直線競馬には合う。

連続した歴史はない。昨年から種牡馬入りしたグランプリボス(123頭も交配)、やがて種牡馬となるだろうビッグアーサー(5歳)がいるので、「テスコボーイ系」は、まだまだ存続しそうである。テスコボーイも、サクラユタカオーも、母の父としてはあまり成功したとはいえないが、サクラバクシンオーはすごい。(母の父ノーズンテーストを大きな味方にしたからだろう)。キタサンブラック、ハクサンムーン、モンドキャンノを筆頭に活躍馬が増え、母の父ランキングはここ3年「15↓9↓7位」と急上昇である。きょうのベルカント(新潟RR)、マルヨバクシン(小倉RR)なども、やがて繁殖牝馬となって次代に優れたスピード能力を伝え、サクラバクシンオーの父系の存続に大きく貢献するはずである。この父系の血は、代を経てスピード能力にカゲリをみせることがないから素晴らしい。ベルカントも、マルヨバクシンも、その快速をフルに爆発させて快走する。(柏木)

Table with 2 columns: Name, Record. Includes names like 牡馬57キロ、牝馬55キロ、etc.

勝負の一手



耶和之

小倉10R タムロミラクル 新潟1週目の予想がひと通り終わったが、苦手意識も手伝ってか、難解な印象で印をつけるのに四苦八苦の状態。ここは敵前逃亡して推奨馬は小倉からチョイス。充実一途で持ち時計を詰めつつ準OPでも好走。機動力があるのでローカル・千七でも能力減はない。

《先週のWIN5》

Table with 4 columns: Race, Winner, Remaining Tickets, Total Tickets. Includes races like 中京10R, プレステイジオ, etc.

「レース展開」の馬番数字の中心は、その日の白ヌキ数字で表した馬」ということだ。